

**第1 歳入**  
**一般会計**  
 諸収入

事業名等	事業費	内容と成果
1 ホームページ広告掲載事業	600,000円	平成18年10月から市ホームページにバナー広告欄を設け、広告掲載について公募したところ、5事業者から申込みがあり、当該事業者の広告を掲載した。 ・20,000円×5枠×6箇月=600,000円
2 男女共同参画情報誌広告掲載事業	75,000円	男女共同参画情報誌「あなたとわたし」に広告欄を設け、掲載した。 ・15,000円×5枠=75,000円
3 ペットボトル処理事業	9,733,170円	回収したペットボトルについて、平成17年度までは(財)日本容器包装リサイクル協会に無償で引き渡していたが、平成18年度から競争により買取り業者を決定し、売払った。 ・売払い量 226,090kg ・売払い収入 9,733,170円

**第2 歳出**

**1 一般会計**

(1) 総務費

事業名等	事業費	内容と成果
1 IP対応電話交換機借上	473,634円	新庁舎建設を機に従来のアナログ電話からIP電話へ変更した。(長期継続契約5箇年 9,472,680円) 内線電話をIP化することにより、組織変更等による配線工事費の削減を図るとともに、外線電話を光電話に変更し、通信費の削減を図った。 なお、IP通信網のトラブルや停電時の対策として、一般アナログ回線も併用して利用していく。
2 新庁舎建設事業	1,603,562,903円	平成20年3月20日までを工期とした市庁舎建設工事に着手した。 本年度は第一期工事として、(仮称)第1棟とフォーラムの一部が完成し、各部署が新庁舎に移転をするに伴って必要となる備品を購入した。 ・工事請負費(平成18年度分) 1,540,185,150円 (内訳) 建築 1,020,357,450円 電気設備 220,074,750円 空調設備 196,592,550円 給排水衛生設備 103,160,400円 ・監理委託料(平成18年度分) 14,240,100円 ・備品等移転委託料 20,939,100円 (内訳) 備品移転 5,565,000円 通信回線移転 794,325円 電算室移転 9,047,850円

事業名等	事業費	内容と成果
		機器移転 3,358,425円 動作確認委託 2,173,500円 ・電波障害事前調査委託料 714,000円 ・臨時駐車場借上料 4,904,606円 ・備品購入費 22,103,457円 ・事務費等 476,490円
3 人事考課評価者等研修講師謝礼	640,500円	人事考課制度の試行実施に伴い、公正・公平な運用展開を図るため、管理職員を対象とした評価者研修及び課長補佐職以下を対象とした被評価者研修を実施し、制度の理解に努めた。 ・人事考課評価者研修講師謝礼 257,250円 実施回数 2回 ・人事考課被評価者研修講師謝礼 383,250円 実施回数 6回
4 昇任試験論文採点業務委託	310,212円	昇任試験の論文試験について、課題作成及び採点を第三者機関に委託することにより、昇任試験における中立・公平性の確保を図った。 ・職員昇任試験業務委託料 310,212円 ・対象者 管理職選考 43人 主任選考 44人 技能主任選考 4人
5 銀行口座振替手数料	2,400,000円	公金の支払に伴う口座振替手数料について、安定的かつ効率的な事務運営の観点から、派出業務及び諸手数料の見直しを行い、指定金融機関に対し振替手数料の一部を負担することで、よりスムーズな業務の運営を図った。 ・対象件数 80,000件 ・単価 30円
6 景観フォーラムの実施	287,612円	「福生市まちづくり景観基本計画」の実効性を確保するため、「福生市まちづくり景観条例」を制定し、この一年の成果を発表するため景観フォーラムを実施した。 景観フォーラム（平成19年2月24日実施） ・講師謝礼 20,000円 ・手数料 41,757円 ・印刷製本費 225,855円
7 バックアップデータ保管委託	368,550円	住民情報系システムなど、重要度の高いシステムのバックアップデータを庁舎外の安全な場所に保管し、大規模災害時等の重大なシステム障害からのデータ復旧を確実に行うため、バックアップデータを記録した媒体の保管を委託した。 ・バックアップデータ保管委託 368,550円
8 庁内ネットワーク機器借上及び保守委託	1,017,765円	新庁舎（仮称）第1棟のネットワークの構築に必要な機器の借上及び保守委託を行った。 ・庁内ネットワーク機器借上 797,475円 ・庁内ネットワーク保守委託 220,290円
9 ホームページの改善	1,566,126円	市ホームページをリニューアルし、デザインの改善と利便性の向上を図った。 （平成18年8月1日リニューアル）

事業名等	事業費	内容と成果
10 交通安全標語塔移設 工事	257,250円	永田橋脇敷地に設置していた標語塔について、永田橋拡幅 工事に伴い、同敷地内での移設工事を行った。
11 拝島駅南口臨時自転車 駐車場撤去及び拝 島駅南口臨時自転車 駐車場整備事業	1,144,500円	国道16号線の拡幅工事に伴い、既設の臨時自転車駐車場が 工事計画部分に当たるため撤去し、代替となる臨時自転車駐 車場を新設した。 ・撤去場所 福生市大字熊川1,392番地先 構造 平面式 規模 自転車142台、原動機付自転車26台 ・新設場所 福生市大字熊川452番地先 構造 平面式、無蓋（アスファルト舗装） 規模 自転車15台
12 福生市営福生駅西口 駐車場指定管理業務	22,785円	駐車場利用者へのサービスの向上、効率的な管理及び地域 の商業振興を図るため、「福生市公の施設の指定管理者の指 定の手続等に関する条例」に基づき、福生市商工会と協定を 締結し、指定管理者制度を導入した。管理運営に要する経費 は、指定管理者が収受する利用料金により賄う。 指定期間：平成18年4月1日から平成21年3月31日まで 火災保険料：市有物件災害共済 22,785円
13 福東会館管理業務委 託	3,169,570円	管理方法を地域会館と同様の直営管理とし、広く市民の利 用に供し、地域社会の福祉の増進と文化の向上を図った。
14 地域安全マップづく り事業	64,869円	全小学校を対象に地域と児童が一体となり、犯罪が起こり やすい場所のマップづくりを行い、危険回避能力を身につけ るとともに、自分たちのまちに対する防犯診断を行った。 ・参加人数 児童92名 保護者154名 ・マップ数 23枚
15 私立幼稚園等園児保 護者負担軽減補助金	50,505,028円	私立幼稚園等に在籍する幼児の保護者に対して補助金を 交付することにより、保護者の負担を軽減し、幼児教育の振 興を図った。 ・私立幼稚園園児保護者負担軽減補助金 延べ 7,935人 49,692,628円 ・幼稚園類似幼児施設保護者負担軽減補助金 延べ 144人 812,400円
16 幼稚園就園奨励費補 助金	33,513,700円	私立幼稚園に在籍する幼児の保護者の経済的負担を軽減 するため、保護者の所得状況に応じて補助金を交付すること により、幼稚園教育の振興を図った。 ・対象者 470人
17 市民活動促進補助金	700,000円	公益を目的とした活動を行う団体の事業に対して補助金 を交付し、市民活動団体等の自立を支援した。 ・始業期支援補助金 30万円（10万円×3団体） ・成長期支援補助金 40万円（20万円×2団体）

事業名等	事業費	内容と成果
18 男女共同参画推進市民啓発	184,117円	<p>男女共同参画に関する市民の意識及び生活実態を把握し、市の男女共同参画社会の形成を推進するため、市民と協働して、平成23年度からの第4期男女共同参画行動計画の基礎資料となる男女共同参画に関する市民意識・実態調査を行った。また、調査報告会を開催し、結果と分析について有識者による講評を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査対象 市内在住の20歳以上の男女1,500人</li> <li>・調査方法 郵送調査法</li> <li>・調査期間 平成18年9月1日から同年同月22日まで</li> <li>・有効回収率 30.8%</li> </ul> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費 7,222円</li> <li>・印刷製本費 12,600円</li> <li>・郵券代 160,695円</li> <li>・意識実態調査報告会保育謝礼 3,600円</li> </ul>
18 市政出前講座事業	0円	<p>より身近で、開かれた市政の実現を進めるため、市民で構成する団体が開催する学習活動の場に、市職員を講師として派遣し、市政の現状を学ぶ機会や行政情報の提供の機会拡充を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 9回</li> <li>・受講人数 延べ275人</li> </ul>
19 口座振替磁気テープ処理委託	983,220円	<p>磁気テープ(MT)の製造中止に伴い、口座振替取扱金融機関へ送る口座振替データの磁気媒体をカートリッジ式磁気テープ(CMT)に変更し、事務の円滑化を図った。</p> <p>総事業費 1,764,000円</p> <p>(内訳) 市税等分 983,220円(総務費) 国民健康保険税分 780,780円(民生費)</p>
20 法人住民税収納システム改良委託	1,050,000円	<p>他の税目と同様の収納システムを導入することにより、消し込み作業・納税証明書交付作業等における効率化及び迅速化を図った。</p>

(2) 民 生 費

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
1 国民健康保険レセプト確認事務委託	3,024,000円	<p>医療費適正化の重点対策の一環として、保険者として診療報酬明細書による診療報酬の請求の正確さを期するため、点検調査の充実強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容点検枚数 266,725枚</li> <li>・診療報酬保険者負担額 A 3,371,565,845円</li> <li>・再審査の結果減額された額 B 9,210,630円</li> <li>・被保険者一人当たり過誤調整額 C (B/被保険者数) 445円</li> <li>・過誤調整率 D (B/A) 0.27%</li> </ul>
2 障害福祉システム改良委託	5,561,850円	<p>障害者自立支援法による施策の円滑な実施に向けて、障害福祉システムの改良を行った。</p> <p>障害者自立支援法施行に伴うシステム改良委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年10月1日法改正対応分 3,146,850円</li> <li>・平成19年4月1日法改正対応分 2,415,000円</li> </ul>
3 精神障害者地域活動支援センター事業	17,164,500円	<p>地域で生活する精神障害者の日常生活の支援、相談対応、交流活動等を行う拠点となる地域活動支援センターを開設し、精神障害者の自立支援を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置場所 福生市東町6番地8MEビル3階</li> <li>・名 称 地域活動支援センターハッピーウイング</li> <li>・開設時期 平成18年4月1日(羽村市と共同設置)</li> <li>・利用登録者 36人 (平成18年10月1日から地域生活支援事業へ移行)</li> <li>・精神障害者地域活動支援センター委託料: 5,721,500円</li> <li>・精神障害者地域活動支援センター事業委託料: 11,443,000円</li> </ul>
4 障害程度区分認定審査事務	1,754,806円	<p>1 障害者等の障害程度区分の判定を行うとともに、さまざまな障害福祉サービスの支給の要否及び支給量を、公平・公正に決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害程度区分認定審査会委員報酬: 1,278,000円</li> <li>・審査会委員8人(一合議体5人) 医 師: 日額24,000円 医師以外: 日額18,000円</li> </ul> <p>2 障害程度区分の認定に必要な医師意見書の作成費用を助成し、障害者の経済的負担の軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者 89人</li> <li>・医師意見書作成費用助成事業費(手数料): 476,806円</li> </ul>
5 介護給付及び特例介護給付事業	73,291,179円	<p>1 利用者負担軽減等補助金: 238,328円</p> <p>低所得者で生活が困難な障害者について、福祉サービスの提供を行う事業者が、福祉サービスの利用に係る利用者負担を軽減することにより、福祉サービスの利用促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者 5社</li> </ul> <p>2 居宅介護サービス費: 37,944,197円</p> <p>障害程度区分1以上の人を対象に、ホームヘルパーが障害者等の居宅で、入浴・排せつ・食事等の介護を提供し、障害者の日常生活の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給決定者 58人</li> </ul>

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
		<p>3 重度訪問介護サービス費：7,150,430 円            障害程度区分4以上の重度の肢体不自由者で常に介護を必要とする人に対して、自宅での入浴・排せつ・食事等の介護、外出時における移動支援などを総合的に提供し、障害者の日常生活の充実を図った。(平成18年10月1日から実施)            ・支給決定者 5人</p> <p>4 療養介護サービス費：1,313,140 円            医療と常時介護を必要とする障害者に対して、医療機関等で機能訓練、療養上の管理、看護及び日常生活の支援をし、障害者の自立の促進を図った。(平成18年10月1日から実施)            ・支給決定者 1人</p> <p>5 生活介護サービス費：11,665,135 円            常に介護を必要とする障害者等に対して、施設等で昼間に入浴・排せつ・食事等の介護を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供し、福祉サービスの向上を図った。(平成18年10月1日から実施)            ・実施場所 生活介護「はっぴい・れんげ園」            ・利用登録者 28人</p> <p>6 児童デイサービス費：100,871 円            障害児に対して、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行い、社会参加の促進を図った。(平成18年10月1日から実施)            ・支給決定者 1人</p> <p>7 ショートステイサービス費：5,773,505 円            自宅で介護する人が病気等の場合に、短期間、夜間も含め、施設において入浴、排せつ、食事等の介護等を行い、障害者とその家族の福祉の向上を図った。            ・支給決定者 41人</p> <p>8 共同生活介護サービス費：8,924,441 円            障害者が共同生活を行う居宅(ケアホーム)において入浴、排せつ、食事等の福祉サービスを提供することにより、障害者の日常生活の充実を図った。(平成18年10月1日から実施)            ・支給決定者 11人</p> <p>9 施設入所支援サービス費：181,132 円            障害程度区分4以上の障害者で施設入所している人に対して、入浴・排せつ・食事等の介護を提供し、障害者の日常生活の充実を図った。(平成18年10月1日から実施)            ・支給決定者 1人</p>

事業名等	事業費	内容と成果
6 訓練等給付及び特 例訓練等給付事業	24,189,103円	<p>1 障害者共同生活援助サービス費：22,937,941円 障害者が共同生活を行う住居（グループホーム）で、日常生活の援助等を提供し、障害者の自立生活の充実を図った。 ・利用者 16人</p> <p>2 障害者就労移行支援サービス費：867,290円 （平成18年10月1日から実施） 一般企業等への就労を希望する障害者に対して、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行い、障害者の自立の促進を図った。 ・利用者 1人</p> <p>3 障害者就労継続支援サービス費：383,872円 （平成18年10月1日から実施） 一般企業等での就労が困難な障害者に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行い、障害者の自立の促進を図った。 ・利用者 1人</p>
7 自立支援医療費事 業	445,586円	<p>身体障害者の職業能力を増進又は日常生活の活動能力を増やすために、障害の程度軽減、除去の医療が必要な障害者等に、医療給付を行った。また、医療費に月額上限額等を設定し、利用者負担の軽減を図った。（平成18年10月1日から実施） ・支給決定者 6人 ・更生医療費：445,586円</p>
8 心身障害者地域活 動支援センター費 事業	5,573,329円	<p>創作的活動又は生産活動の機会の提供及び社会との交流を促進する機会の提供を行い、心身障害者の地域活動の支援を図った。（平成18年10月1日から実施） ・実施場所 地域活動支援センター「はっぴい・れんげ園」等 ・利用登録者 14人 ・心身障害者地域活動支援センター費：5,573,329円</p>
9 画像レセプト情報 管理システムの導 入（国民健康保険 分）	1,076,250円	<p>平成18年10月から画像レセプト情報管理システムを導入することにより、事務処理の効率化及び紙レセプト保管場所の解消を図った。 ・総事業費 2,569,320円 一般会計（システム改良保守に係る部分） 1,076,250円 国保特別会計（作成・管理に係る部分） 1,493,070円</p>
10 画像レセプト情報 管理委託（老人保健 医療分）	734,916円	<p>平成18年10月から画像レセプト情報管理システムを導入することにより、事務処理の効率化及び紙レセプト保管場所の解消を図った。</p>
11 老人医療レセプト 確認事務委託	2,520,000円	<p>医療費適正化の重点対策の一環として、老人医療診療報酬明細書による診療報酬の請求の正確さを期するため、点検調査の充実強化を図った。 ・内容点検枚数 143,903枚 ・総医療給付額 A 3,013,760,782円 ・再審査の結果、減額された額 B 27,969,781円 ・受給者1人当たり過誤調整額 C （B／平均受給者数） 5,917円 ・過誤調整率 D（B／A） 0.93%</p>

事業名等	事業費	内容と成果
12 年金相談員の設置	1,986,800円	<p>頻繁な法改正により複雑化した年金制度を的確に捉え、市民に対する年金相談業務を充実させるため、社会保険労務士を年金相談員として設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>報酬 1,930,000円</li> <li>費用弁償 56,800円</li> </ul>
13 国民年金システム改良委託	1,207,500円	<p>国民年金保険料未納者に対し、納付又は免除申請を勧奨するため、当該被保険者の所得情報を抽出し、また、継続免除申請者に対し、申請者、配偶者及び世帯主の所得情報を抽出し、判定するシステムを追加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>継続免除所得情報提供件数 657件</li> <li>未納者所得情報提供件数 5,904件</li> </ul>
14 福生市福祉センター管理運営事業	129,366,000円	<p>地域住民等に対する福祉サービスの向上及びセンターの効率的な管理を行うため、「福生市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例」に基づき、福生市福祉センターの管理を社会福祉法人福生市社会福祉協議会に委託した。</p> <p>総事業費 140,263,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 老人福祉センター事業指定管理委託料 34,623,000円</li> <li>2 生きがい活動支援デイサービス事業指定管理委託料 16,211,000円</li> <li>3 福祉センター施設指定管理委託料 78,532,000円</li> <li>4 配食サービス事業指定管理委託料 10,897,000円</li> </ul> <p>(介護保険特別会計)</p>
15 ホームヘルプサービス負担軽減補助金	1,355,339円	<p>訪問介護を利用する低所得の障害者に対して、介護保険法施行に伴う利用者負担額の激変を緩和するため、利用者負担額の一部を助成した。</p>
16 児童手当等システム改良委託	8,898,750円	<p>ホストコンピュータを利用しているLIFE福祉関連システム(児童手当、児童育成手当、乳幼児助成医療及びひとり親家庭等助成医療)をサーバー型の新システムに移行し、事務処理の効率化を図った。</p>
17 児童手当支給事業	343,400,000円	<p>児童手当制度の改正により、児童手当支給対象児童を小学校第3学年修了前の児童から小学校修了前児童に年齢拡大をするとともに支給申請者の所得制限限度額の緩和を実施し、子育て支援の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象児童数 延べ61,785人</li> </ul>
18 母子自立支援員の設置	2,420,590円	<p>母子・寡婦福祉法の改正により、母子自立支援員を配置し、経済上の問題、児童の就学及び就職問題等、その自立に必要な相談、助言、指導等を実施した。併せて婦人保護事業に関する相談業務等も実施し、母子及び寡婦の自立を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>母子相談件数 年間延べ592件</li> <li>婦人相談件数 年間延べ179件</li> <li>母子自立支援員報酬 2,330,000円</li> <li>費用弁償 90,590円</li> </ul>



事業名等	事業費	内容と成果
19 母子家庭自立支援 教育訓練給付金事業	105,699円	母子家庭の母の主体的な能力開発の取組を支援するため、就業を目的とした教育訓練に関する講座を受講・修了した場合に受講料の一部を給付し、もって母子家庭の自立の促進を図った。(受講費用の40%の範囲で8,000円～200,000円以内) ・対象件数 2件
20 母子家庭高等技能 訓練促進費事業	2,266,000円	母子家庭の母が就業を容易にするために必要な資格を取得するため、養成機関で2年以上訓練を受ける場合に、一定期間訓練促進費を給付することにより、母子家庭の経済的支援を図った。 (訓練期間の3分の1(12箇月を上限)について、月額103,000円を申請のあった当月分から支給) ・対象件数 3件
21 乳幼児医療費助成 事業	110,123,098円	乳幼児医療費助成制度における2歳未満の児童の保護者の所得制限限度額を撤廃し、乳幼児の保護者への医療助成の拡大を図った。 ・対象乳幼児数(平成19年3月末) 3,281人 (うち市単独助成対象乳幼児数 56人)
22 乳幼児ショートステイ 事業	1,470,750円	保護者又は乳幼児を養育する者が、疾病その他の理由により家庭において乳幼児を一時的に養育することができない場合に、短期間施設にて乳幼児を預かるショートステイ事業を平成18年4月から実施し、子育て支援と児童福祉の向上を図った。 ・利用人数 22人 ・利用延べ日数 40日(宿泊保育日数27日、日中保育日数13日)
23 学童クラブ新設事 業	4,711,140円	学童クラブの待機児の解消を図るため、学校内に臨時的に学童クラブを開設するに当たり、施設整備を実施した。 ・場所 福生第七小学校 ・名称 臨時第2田園クラブ ・定員 30人 ・設置工事費 2,934,750円 ・備品購入費 1,776,390円
24 学童クラブ増設事 業	3,016,440円	学童クラブの待機児の解消を図るため、学童クラブの改修を実施した。  武蔵野台クラブ ・受入児童数 73人→100人 ・改修工事費 1,060,500円 ・備品購入費 1,194,585円 さくらクラブ ・受入児童数 65人→80人 ・増設工事費 182,700円 ・備品購入費 742,560円
25 つくし保育園民営 化事業	5,392,000円	公設公営のつくし保育園について、平成19年4月からの民営化を円滑に行うため、平成19年1月から同年3月までの3箇月間を引継ぎ期間とし、民営化移管委託を実施した。 ・民営化移管委託料(3箇月) 5,392,000円

事業名等	事業費	内容と成果
26 熊川保育園民営化事業	132,125,926円	公設民営の熊川保育園を民営化し、多様化する市民の保育ニーズに応じた保育サービスの提供を行うとともに、民営化により市の財政運営の適正化を図った。
27 認証保育所第三者評価事業補助金	500,000円	認証保育所の管理・運営・サービス内容等について、外部評価機関による客観的な評価を実施することにより、保育の質の確保を図った。 ・認証保育所1箇所
28 すみれ保育園乳児室床暖房設備設置工事	976,500円	すみれ保育園の乳児室に床暖房設備を設置し、保育環境の向上及び施設の充実を図った。

### (3) 衛生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 福生病院組合建設費負担金	88,541,000円	2市1町(福生市、羽村市、瑞穂町)で運営する公立福生病院の建替えのための建設費を、負担割合に応じて負担金として支出し、安全で安心な医療サービスの充実を図っていく。 ・本体工事期間 平成18年～平成20年度
2 健康ふっさ21事業	391,702円	市民と協働で作成した福生市健康増進計画「健康ふっさ21」(小冊子)の発行及び要約版の作成と各戸配布を行った。
3 基本健康診査事務電算委託	753,480円	基本健康診査の結果をデータ入力し、その結果を基に訪問指導、健康教育、疾病予防の事業等に活用した。
4 麻しん風しん混合接種委託	3,914,713円	予防接種法の改正により、これまで別々に実施してきた麻しん及び風しん接種について、混合ワクチン使用による同時接種に変更した。
5 畜犬登録管理システム更新	157,500円	蓄犬登録管理システム搭載パソコンの老朽化により新しいパソコンへシステム移行する必要が発生し、これに対応するため蓄犬登録管理システムを更新した。
6 福生スクラム・マイナス50%事業	0円	地球温暖化対策を推進するため、市民・事業者・商工会・市によって設立した「福生スクラム・マイナス50%協議会」が、環境省の事業である環境と経済の好循環まちモデル事業を開始した。 ・事業者技術支援セミナー ・省エネアドバイザー養成講座 ・講演会の実施 ・ホームページの開設 ・機関誌の発行など

事業名等	事業費	内容と成果
7 地域猫去勢・不妊手術費助成事業	466,200円	<p>市民会議の提言に基づき、猫の繁殖と危害等を減少させ、人と動物の共生を目指すために、助成事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容 モデル地区で、市民団体が捕獲した猫の去勢・不妊手術費の助成をする。</li> <li>・対象地区 富士見台町会、本町第七町会、本町第八第一町内会</li> <li>・助成額（限度額） オス7,000円、メス12,000円</li> <li>・成果 手術後猫はモデル地区で放され、野良猫ではなく、地域猫として生活する。猫の増加が抑制され、生ゴミの散乱が減る等の効果があった。また、地域猫を通じて新たな地域コミュニティの形成も期待される。</li> </ul>
8 容器包装プラスチック選別圧縮梱包委託	11,448,305円	<p>容器包装プラスチックを(財)日本容器包装リサイクル協会に引き渡すため、選別圧縮梱包を委託した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・容器包装プラスチックの収集量 474,050kg</li> <li>・容器包装プラスチック選別圧縮梱包委託料 11,448,305円</li> </ul>
9 脱着装置付コンテナ専用車(ごみ搬送車)の買替え	18,531,036円	<p>脱着装置付コンテナ専用車が、NOx・PM対策法の排出基準に不適合となったため、買替えを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買替え台数 2台</li> </ul>

#### (4) 農林水産業費

事業名等	事業費	内容と成果
農業者支援事業	386,400円	<p>農業者からの要望がある農機具(せん定枝等破砕機)を市が購入し農業者等へ貸し出すことにより、農業者支援施策の充実を図った。また、保管及び保守を市内農業者団体と契約し、協働事業として実施し、都市農業の活性化に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・備品購入費 386,400円</li> </ul>

#### (5) 商工費

事業名等	事業費	内容と成果
1 蛸まつり補助金	1,400,000円	<p>福生市の観光振興を積極的に推進する団体に対して、その観光事業に係る経費の一部を補助することにより、観光客の誘致、福生市のPR及び商工業の振興を図った。</p>
2 福生市商工会補助金	12,922,000円	<p>補助対象や金額を見直し、商工会事業費補助金として一本化することにより、事務の効率化及び商工業振興の充実を図った。</p>
3 青梅線沿線地域産業クラスター推進協議会への加入	0円	<p>JR青梅線・五日市線・八高線沿線地域に位置する各自治体、商工会議所、商工会及び社団法人首都圏産業活性化協会によって組織されたネットワークへ加入し、産業支援を図った。</p>
4 首都圏産業活性化協会負担金	20,000円	<p>首都圏産業活性化協会へ加入し、企業の産業活性化のための情報提供と環境整備へのアドバイスを受けた。</p>
5 中小企業振興資金管理システム作成委託	1,102,500円	<p>中小企業振興資金管理システムの事務処理について、ホストコンピューター処理からパソコン処理に移行するため、新しいシステムを構築し、事務の効率化を図った。</p>

事業名等	事業費	内容と成果
6 消費者相談	1,235,020円	消費生活相談員を嘱託化し、専門的な知識と豊富な経験のある消費者相談員の安定雇用と消費生活相談業務の充実を図った。 ・消費生活相談員報酬 1,140,000円 ・費用弁償 95,020円

(6) 土木費

事業名等	事業費	内容と成果
1 捨て看板撤去事業	0円	平成16年度から市民との協働による違反広告物撤去協力員制度を実施し、美観を害する違反広告物の一掃に努めた。平成19年3月末日現在で45団体279名が参加し、平成18年度で約8,000枚撤去した。
2 道路新設改良事業	594,954,078円	<p>1 市道第30号線歩道設置事業費 32,695,381円 生徒及び地域住民の安全確保を図るため、道路幅員4.0mに1.5mの歩道を設置し、併せて車道舗装も実施した。延長76.6m 歩道幅員1.5m 施工面積76.0㎡ 舗装面積286.9㎡</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地鑑定委託料 417,900円</li> <li>・設計委託料 1,155,000円</li> <li>・用地買収費 20,872,700円</li> <li>・家屋及び工作物等補償費 2,080,781円</li> <li>・工事請負費 8,169,000円</li> </ul> <p>2 市道第181号線歩道設置事業費 9,177,000円 児童の通学と地域住民の安全確保を図るため、道路幅員4.0mに1.1～1.5mの歩道設置工事を実施した。延長95.4m 幅員1.2～2.1m 施工面積147.1㎡</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計委託料 934,500円</li> <li>・工事請負費 8,242,500円</li> </ul> <p>3 市道第221号線法面防護事業費 18,618,280円 道路脇の法面が急勾配であり、これを支える玉石積の損傷箇所もあり危険なので、歩行者等の安全を図るため、法面の用地買収と法面防護及び石積補修を目的とした実施設計を委託した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地測量委託料 168,000円</li> <li>・土地鑑定委託料 380,100円</li> <li>・設計委託料 1,365,000円</li> <li>・用地買収費 16,705,180円</li> </ul> <p>4 拝島駅自由通路整備事業費 490,569,601円 拝島駅を南北に結ぶ自由通路及びJR、西武鉄道の橋上駅舎の工事を委託した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事委託料 490,569,601円</li> </ul> <p>5 東福生駅自由通路上屋設置事業費 43,893,816円 東福生駅自由通路の安全性及び利便性の向上を目的とした上屋の設置工事を委託した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事委託料 43,893,816円</li> </ul>

事業名等	事業費	内容と成果
3 住宅マスタープラン策定事業	4,641,000円	「愛着を持って永く住み継がれるまち 福生」を基本理念として、世代を超え、愛着や誇りを持って住み続けられる住まいとまちの実現を目指し、新たな住宅マスタープラン〔案〕を策定した。  計画期間 平成19年度から平成28年度までの10年間
4 既存建築物耐震改修等促進計画策定事業	2,814,000円	市内の住宅、建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図り、震災から市民の生命及び財産を守ることを目的として、建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第7項に基づき、「福生市耐震改修促進計画」を策定した。  計画期間 平成18年度から平成27年度までの10年間
5 都市下水路施設撤去費負担金	4,869,518円	多摩川上流雨水幹線が完成したことにより、既設の開きよ部分の都市下水路施設が不要となったため、撤去及び埋戻しを実施していく。 開きよ（撤去分）管路延長 4,389.4m 開きよ部分の羽村市分740m、青梅市分450mを撤去及び埋戻しをした。 負担割合 青梅市50%、羽村市45%、福生市5%
6 公園便所改築工事	4,305,000円	加美平北公園の老朽化した便所を、高齢者や障害者の人にも利用しやすいように、改築工事を実施した。 ・便所(2.205m×2.430m)1棟 (洋便器各1基 手洗機器1基) 5.35㎡
7 福生南公園管理棟新築工事	11,077,500円	管理棟が平成17年1月31日に火災により滅失したため、軽量鉄骨造(37.26㎡)にて新築した。 ・設計委託料 892,500円 ・監理委託料 420,000円 ・工事請負費 9,765,000円

(7) 消 防 費

事業名等	事業費	内容と成果
1 福生市防災マップ・洪水ハザードマップの作成	2,856,023円	防災意識の高揚及び防災情報の周知のため、表面に防災マップを、裏面に多摩川洪水ハザードマップを配したマップを作成し、市内全戸配布を行った。 ・作成部数 35,000部 ・作成委託料 2,362,500円 ・配布委託料 493,523円
2 防災行政無線屋外子局移設等工事	1,596,000円	永田橋脇敷地に設置していた屋外子局について、永田橋拡幅工事に伴い、同敷地内での移設工事を行った。

事業名等	事業費	内容と成果
3 災害備蓄品配備	3,057,600円	災害時に備え、食糧と備品を配備した。 食糧 2,123,100円 ・乾パン：2,000缶 ・アルファ米：2,000食 ・3日間食糧セット：2,700食 ・乾燥おかゆ：1,000食 ・粉ミルク：100缶 備品 934,500円 ・避難所用救急箱（セルフケアセット）：1セット ・避難所用発電機セット：1セット ・災害用簡易ベッド：1台 ・折りたたみ式担架：1台
4 防災行政無線施設改良事業	1,134,000円	老朽化した現行システムの再整備を図るため、防災行政無線施設改良工事の基本設計を行った。 ・基本設計委託料 1,134,000円
5 福生市国民保護計画策定事業	997,118円	武力攻撃事態・大規模テロ等から市民等の生命、身体及び財産を保護し、市民の生活や経済への影響が最小となるよう、住民の避難、避難住民等の救助、武力攻撃災害への対処等を的確かつ迅速に実施することを目的として、福生市国民保護計画を作成した。 ・作成部数 200部

#### (8) 教育費

事業名等	事業費	内容と成果
1 教育実践モデル校等研究委託事業	2,905,202円	学校教育における指導の実施方法・実施体制等の確立を目指すため、モデル校等を指定して調査・研究・実践を行った。 ・人権尊重教育推進校事業委託 371,000円 ・日本の伝統・文化理解教育推進校事業委託 88,000円 ・子どもと親の相談員活用事業調査研究委託 1,344,985円 ・生徒指導推進協力員活用調査研究委託 350,000円 ・スクリーニング・サポート・ネットワーク整備事業調査研究費 751,217円 (内訳) 指導員謝礼 728,170円 その他 23,047円
2 小・中学校教室カーテン洗濯交換等事業	3,948,253円	老朽化したカーテンの交換及び洗濯（クリーニング）を実施した。 ・交換：一小・四小・二小・六小・七小・一中 ・洗濯（クリーニング）小学校7校及び中学校3校
3 通級指導学級の設置（増設）	18,536,734円	情緒的に課題のある児童・生徒に対する支援の充実を図るため、対象児童数の増加及び通級の利便性を考慮し、第五小学校に通級指導学級を開設した。

事業名等	事業費	内容と成果
4 小・中学校防犯カメラ設置事業	26,142,900円	<p>学校内への不審者侵入による凶悪犯罪を未然に防止し、児童・生徒等の校内安全対策を向上させるため、全小中学校に防犯カメラを設置した。</p> <p>1校当たり ・ビデオカメラ4台（一中は6台） ・モニターテレビ2台（三小・四小は3台） ・収録装置1台、インターホン1台</p> <p>・工事請負費（小学校費） 17,500,000円 ・工事請負費（中学校費） 8,642,900円</p>
5 小・中学校医療費扶助事業	199,675円	<p>政令で定める疾病にかかり、学校から治療の指示を受けた要保護・準要保護世帯を対象に、個人負担医療費について扶助することにより、保護者負担の軽減を図った。</p> <p>・小学校費 153,874円 ・中学校費 45,801円</p>
6 給食費管理システム改良事業	1,631,175円	<p>パソコンベースのシステムに改良したことにより、消し込み処理や異動処理等が容易に処理ができることから、学校給食費の収納事務の迅速化及び効率化が図れた。</p> <p>・給食費管理システム改良委託料 1,443,750円 ・給食費管理システム保守委託料 91,875円 ・電算機借上料 95,550円</p>
7 地頭井戸保存事業	54,590円	<p>福生市に寄附された井戸（地頭井戸と呼ばれる江戸期の井戸）の保護及び安全管理のため、周囲に立入りを禁止するための鉄線柵を設置した。</p> <p>・井戸鉄柵設置委託 54,590円</p>
8 郷土資料室等ガスクン蒸消毒事業	279,300円	<p>収蔵資料を良好な状態で保管するため、ガスクン蒸消毒を実施した。</p> <p>・資料くん蒸消毒委託 279,300円</p>
9 収蔵資料の提供 （郷土資料室収蔵管理公開システム更新）	1,203,861円	<p>市民をはじめとして、多くの人々に広く郷土資料室及び収蔵資料の情報を提供するため、従来の収蔵管理システムを改良し、ホームページを開設した。</p> <p>・平成18年10月開設</p>
10 市民会館外灯取替工事	903,000円	<p>市民会館・公民館の敷地内に設置してある外灯について、設置から約30年が経過し、老朽化により腐食が進み、危険なため、取替工事を実施した。</p> <p>・工事費 903,000円</p>
11 図書館システム更新	9,549,750円	<p>電算システムの更新を行い、インターネットによる予約等のWebサービスを開始した。システム更新に伴い、平成13年7月に開設したホームページを全面リニューアルし、子ども専用ページ、ヤングアダルトページを新設した。また電算機の入替えと同時に、機器設置場所の改良工事を実施した。</p> <p>・システム改良委託料 7,875,000円 ・改良工事費 1,674,750円</p>
12 インターネット利用パソコン用回線の整備	207,266円	<p>インターネットによる調査、研究に利用できるよう設置している利用者用パソコンのインターネット接続形態を、従来の図書館システムとの共用から単独回線に切り替えることにより、セキュリティの確保を図った。</p>
13 プチギャラリー4階トイレ改良工事	640,500円	<p>プチギャラリー4階男子トイレを「だれでもトイレ」に改良することによりバリアフリー化し、利用者の利便性の向上を図った。</p>

事業名等	事業費	内容と成果
14 市営プール管理業務委託	11,367,300円	従来の監視・受付・清掃業務に加えて、歩行者誘導業務を追加し、道路を隔てた駐車場とプールを往来する利用者の安全の確保を図った。 ・開場期間 平成18年7月9日から同年9月2日まで (56日間) ・管理業務委託料 11,367,300円
15 加美平野球場防球ネット改良事業	46,181,996円	球場に設置しているネットフェンスが低く危険なため、防球ネットを設置することで、危険を未然に回避し、スポーツ活動が安全で安心して行うことができるように、高さ15mの防球ネットを設置した。 ・設計委託料 1,785,000円 ・監理委託料 1,062,600円 ・工事請負費 43,260,000円 ・事務費等 74,396円
16 中央体育館耐震補強等事業	153,931,909円	市民の安全確保と施設機能維持のため、中央体育館の耐震補強工事及び屋根改修等工事を行った。 ・監理委託料 2,782,500円 ・工事請負費 151,127,550円 ・事務費等 21,859円

## 2 国民健康保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 国民健康保険税収納専門員派遣事業委託	6,919,747円	(財)東京税務協会に滞納整理の経験が豊富な都主税局OB 2名の派遣を依頼し、収納業務のうち滞納整理に係る差押え・公売等の収納率の向上、職員の収納技術の向上及び事務処理の効率化を図った。 国民健康保険税収納率 ・平成17年度 69.5% ・平成18年度 69.9%
2 一般被保険者療養給付費給付	2,098,896,494円	一般被保険者の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。 ・一般被保険者一人当たり費用額 173,670円 ・一般被保険者一人当たり保険者負担額 126,531円 ・受診率 1,078.30% ・1件当たり費用額 16,106円
3 退職被保険者等療養給付費給付	1,132,221,414円	退職被保険者等の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。 ・退職被保険者等一人当たり費用額 367,082円 ・退職被保険者等一人当たり保険者負担額 276,962円 ・受診率 2,088.23% ・1件当たり費用額 17,579円
4 一般被保険者療養費支給	34,842,849円	療養の給付を行うことが困難であると認めるとき若しくは緊急その他やむをえない理由によると認めるとき又は柔道整復師による施術を受けたとき、療養の費用を一般被保険者に支給した。 ・一般被保険者一人当たり費用額 2,900円 ・一般被保険者一人当たり保険者負担額 2,100円 ・支給件数 4,808件 ・1件当たり保険者負担額 7,247円



事業名等	事業費	内容と成果
5 退職被保険者等療養費支給	16,794,070円	療養の給付を行うことが困難であると認めるとき若しくは緊急その他やむをえない理由によると認めるとき又は柔道整復師による施術を受けたとき、療養の費用を退職被保険者等に支給した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・退職被保険者等一人当たり費用額 5,549円</li> <li>・退職被保険者等一人当たり保険者負担額 4,108円</li> <li>・支給件数 1,847件</li> <li>・1件当たり保険者負担額 9,093円</li> </ul>
6 一般被保険者高額療養費支給	168,545,456円	一般被保険者が、同じ月内に同じ病院、薬局等で支払うべき一部負担金（食事療養に係る標準負担額を除く。）が72,300円【H18.10.1から一部法改正あり、80,100円】（上位所得者については139,800円【H18.10.1から一部法改正あり、150,000円】、低所得者については35,400円）を超えた場合に支給した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給件数 2,141件</li> <li>・1件当たり保険者負担額 78,723円</li> </ul>
7 退職被保険者等高額療養費支給	72,395,840円	退職被保険者等が、同じ月内に同じ病院、薬局等に支払うべき一部負担金（食事療養に係る標準負担額を除く。）が72,300円【H18.10.1から一部法改正あり、80,100円】（上位所得者については、139,800円【H18.10.1から一部法改正あり、150,000円】、低所得者については35,400円）を超えた場合に支給した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給件数 1,054件</li> <li>・1件当たり保険者負担額 68,687円</li> </ul>
8 出産育児一時金支給	47,350,000円	被保険者が出産したとき、当該世帯主に対して出産育児一時金を支給した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給件数 147件</li> <li>・1件当たり支給額（平成18年9月まで82件） 300,000円 （同年10月から65件） 350,000円</li> </ul>
9 葬祭費支給	11,620,000円	被保険者が死亡したとき、その葬祭を行った者に対して葬祭費を支給した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給件数 288件</li> <li>・1件当たり支給額（平成18年9月まで139件） 30,000円 （同年10月から149件） 50,000円</li> </ul>
10 結核・精神医療給付金支給	3,349,200円	被保険者が「結核予防法」及び「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に基づく給付を受けた場合に自己負担額（高額療養費を含む。）を支給した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給件数 2,962件</li> <li>・1件当たり支給額 1,131円</li> </ul>
11 老人保健拠出金	965,144,162円	老人保健法による被保険者の健康の保持と適切な医療の確保を図るため、社会保険診療報酬支払基金に対し、医療費及び事務費を拠出した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療費拠出金 950,401,499円</li> <li>・事務費拠出金 14,742,663円</li> </ul>

事業名等	事業費	内容と成果
12 介護給付費納付金	386,735,554円	介護保険法による介護給付費に充てるため、国保加入者のうち40歳以上64歳までの第2号被保険者数に応じ、社会保険診療報酬支払基金に介護給付費納付金を納めた。 47,578円×7,676人+21,526,826円 (平成16年度精算分)
13 高額療養費資金貸付	32,990,673円	被保険者の一部負担金の軽減を図るため、高額療養費に相当する資金を貸し付け、被保険者の療養の給付と生活の安定を図った。 ・貸付件数 135件 ・貸付金額 32,990,673円 ・費用額 133,007,550円
14 出産育児一時金資金貸付	8,240,000円	出産育児一時金の支給を受けることが見込まれる被保険者に対し、出産に必要な資金を貸し付け、被保険者の療養の確保を図った。 ・貸付件数 32件 ・1件当たり貸付金額(平成18年9月まで 18件) 240,000円 (同年10月から 14件) 280,000円
15 保養施設宿泊費補助	195,000円	被保険者の健康の保持、増進を図るため、市長が指定する保養施設を利用した被保険者の宿泊費の補助を行った。 ・補助対象者 65人
16 重複・頻回受診者等訪問指導事業	1,889,496円	重複・頻回受診者等への訪問指導によって、被保険者の健康保持増進及び医療費の適正化を図った。 ・訪問実施数 延べ139人 ・電話実施数 延べ20人
17 特定健診・特定保健指導事業	5,264,000円	平成20年度から医療保険者に義務付けられる特定健診・特定保健指導を支援するシステム開発負担金の支払を、東京都国民健康保険団体連合会に対し行った。

### 3 老人保健医療特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
老人医療給付事業	3,079,249,517円	70歳(平成14年10月からは75歳)以上(寝たきり状態等の人は65歳以上)の者を対象に医療給付を行った。

#### 4 介護保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 介護保険電算機保守委託	2,797,200円	電算機保守、システム保守及び認定審査会用機器保守の委託をし、円滑なシステム機器の利用を図った。
2 介護保険システム改良委託	1,470,000円	介護保険制度の改正に対応するため、介護保険事務処理システムの追加及び改良を行い、介護保険事務の効率化を図った。
3 介護保険関係電算機器借上	2,550,240円	介護保険システム用機器及び認定審査会用機器を借り上げるにより、介護保険事務の効率化を図った。
4 認定調査嘱託員報酬	5,046,000円	要介護認定・要支援認定申請に基づき、介護認定審査会でどの程度の介護が必要かを審査判定するために嘱託員を採用し、公平に要介護認定（訪問）調査を実施するとともに、事務の効率化を図った。
5 主治医意見書作成料	7,588,350円	要介護認定・要支援認定申請に基づき、介護認定審査会でどの程度の介護が必要かを審査判定するために、主治医等に主治医意見書の作成の依頼を行った。
6 要介護認定調査委託	352,800円	要介護認定・要支援認定申請に基づき、介護認定審査会でどの程度の介護が必要かを審査判定するために、指定居宅介護支援事業者等に要介護認定（訪問）調査を委託し、事務の効率化を図った。
7 介護サービス等給付費	2,140,416,394円	要介護認定（要介護度1から5）を受けた被保険者で、在宅又は施設入所者に対して、介護サービスを給付した。
8 介護予防サービス等給付費	40,125,258円	要支援認定（要支援度1・2）を受けた被保険者に対して介護予防サービスを給付した。
9 審査支払手数料	3,121,700円	介護給付費及び公費負担医療等に関する審査並びに支払事務を、東京都国民健康保険団体連合会に委託した。
10 高額介護サービス費	42,606,307円	要介護認定を受けて介護サービスを利用している被保険者に対して、サービスの利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額介護サービス費を支給した。
11 高額介護予防サービス費	3,369円	要支援認定を受けて介護予防サービスを利用している被保険者に対して、サービスの利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額介護予防サービス費を支給した。

事業名等	事業費	内容と成果
12 特定入所者介護サービス費	109,710,030円	低所得者の要介護者が介護保険施設サービスや短期入所サービスを利用した場合、食費及び居住費について、補足給付として特定入所介護サービス費を支給した。
13 筋力向上トレーニング事業	1,995,000円	基本健康診査結果を基に、介護予防につなげることを目的とした筋力向上トレーニングを実施し、運動器の機能向上を図った。 実施期間：平成18年11月から平成19年3月まで 実施回数：12回 4クール（1クール週1回×3箇月） 参加人数：18人
14 低栄養改善事業	67,320円	介護予防を目的とした、低栄養状態の改善や食べる機能減退の早期対処など、食べる機能向上の指導を実施した。 実施期間：平成19年1月から同年3月まで 実施回数：10回 参加人数：7人
15 口腔機能向上事業	119,340円	介護予防のため、個別の口腔機能アセスメントを行なったうえで向上計画を作成し、適切な口腔清掃自立の習慣化指導及び機能トレーニングを実施した。 実施期間：平成19年1月から3月まで 実施回数：8回 参加人数：7人
16 地域包括支援センターの設置	30,847,195円	介護保険制度の改正に伴い、高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点として、保健師、社会福祉士及び主任ケアマネジャーによる地域の高齢者への包括的支援事業を実施した。 ・要支援者数 227人 ・介護予防支援の実施件数 134件 相談件数 ・総合相談 519件 ・権利擁護（成年後見制度等）に関すること 34件 ・高齢者虐待に関すること 20件 ・介護支援専門員等への支援 165件
17 地域包括支援センターシステム導入	2,161,986円	地域包括支援センターで行う地域支援事業の実態把握、相談及び集計作業を的確に実施するため、システムの導入を図った。 ・システム保守委託料 31,500円 ・プログラム使用料 1,589,490円 ・電算機借上料 540,996円
18 介護保険相談員報酬	1,960,000円	サービス利用者、事業者及びサービス従事者からの相談や苦情等の処理を行うため、嘱託職員を採用し週4日（火曜日から金曜日）の介護保険相談日を設け、円滑な介護保険の運営を図った。

## 5 下水道事業会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 中央排水区雨水管 整備事業(都工事に 伴う負担金)	11,819,484円	都市計画道路3・4・3の2号線(新五日市街道線)整備 事業にあわせ、新五日市街道(睦橋通り)雨水管整備事業を 実施した。平成18年度は東京都が施工主体となり、福生市は 負担金(新五日市街道雨水管整備に伴う負担金)を納入した。 ・市負担率:55.4% 工事概要 ・工事延長332.8m ・管布設工(Φ250~Φ800mm)L=518.7m ・人孔設置16箇所
2 福生南部第2処理 分区汚水管理設事 業	16,639,350円	東京都施行による都市計画道路3・4・3の2号線(新五 日市街道線)整備事業に伴い、車道部に埋設されている汚水 管を歩道に埋設替えし、車道部の既設管を撤去した。 ・管布設工Φ200mm L=177.9m ・人孔設置9箇所 汚水ます設置7箇所 ・管撤去工Φ250mm L=210.6m ・人孔撤去10箇所 汚水ます撤去7箇所